

加賀丸いも産地の活性化の取組について

南加賀農林総合事務所

加賀丸いもは、能美市と小松市で栽培されている特産物であり、地域の重要な転作作物として位置づけられています。しかし作業の機械化が進んでいないことや、高齢化等により年々栽培面積が減少しています。また、産地が3JA（JA小松市、JA能美、JA根上）にまたがっていることから、生産部会も3つに分かれており、組織活動の弱体化が懸念されています。

このため、機械化等による省力化や担い手の育成・確保の取組みとともに、3JAの連携強化による丸いも産地全体の活性化が必要となっています。当事務所では、機械化作業体系の実証や、JAと連携した新たな生産者の掘り起こし、丸いも栽培ほ場の斡旋等に取り組んできました。

また、平成25年が、丸いも栽培が始まって100年目の節目にあたることから、「加賀丸いも100年記念祭」を開催するため、当事務所が調整役となり、3JAと3つの丸いも部会をまとめる「南加賀地区丸いも生産協議会」を立ち上げ、一致団結して記念祭を開催する体制を整えました。

加賀丸いも100年記念祭は、平成25年12月1日に能美市根上総合文化会館「タント」において開催されました。内容は2部構成で、第1部は、100年の歴史を振り返り先人たちの功労を顕彰するとともに、これからの100年のための新たな取組等の紹介を柱とした記念式典とし、第2部は、これまで産地を支援してくれた地元住民の方々に感謝するとともに、あらためて丸いもの良さを知ってもらうために、レシピの紹介や加工品の販売、KAGA丸いもの歌の発表等のイベントとしました。

開催当日は、多くの生産者、消費者の方々にご来場いただき、大盛況のうちに記念祭を終えることができました。

農林総合事務所としては、この記念祭の開催が、3JA・3部会が連携を強化し、これからの100年に向けた産地活性化に取り組むきっかけになったと考えております。今後も、引き続き伝統ある産地の活性化を支援していきたいと考えています。



丸いもの機械定植実証圃



丸いも100年記念祭 功労者表彰

問い合わせ先：南加賀農林総合事務所 農業振興部
(0761-23-1703)